

NEXCO中日本ならではのCSR活動 ラムサール条約湿地に登録されている三方五湖周辺で活動スタート ～地域との対話と協働による農山村活性化の取組み～

中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）は、当社の経営資源や強みを生かした「NEXCO中日本ならではの」のCSR活動として、地域との対話と協働による農山村活性化に取り組んでいます。

2011年9月から静岡県内の新東名のサービスエリア近隣の3地区で活動をスタートし、2012年9月から富山県の世界遺産五箇山菅沼集落で茅場の再生・保全活動を、2013年3月から三重県亀山市で国産紅茶の「べにほまれ」を復活する活動をしています。これまでに、NEXCO中日本グループ社員と地域の方々を合わせて延べ約1,800人が参加し、合計50回の活動を行いました。

さらに今月から、ラムサール条約湿地に登録されている福井県若狭町の三方五湖の周辺地域で自然環境保全活動をスタートしました。現在建設中の舞鶴若狭自動車道の三方パーキングエリア（仮称）は三方湖畔に位置しており、三方湖を一望できる場所にあります。開通後にお客さまに良好な景観をお届けするためにも、地域と協働して、自然環境保全活動に取り組むこととしました。



三方パーキングエリア（仮称）から見える三方湖

【福井県若狭町での活動内容】

- ・ブルーギルやオオクチバスなどの外来魚の駆除
- ・三方湖へ注ぐ周辺河川などでの草刈作業
- ・湖面を覆うヒシ刈り（来年度からの予定）



9月7日に実施した草刈作業

引き続き、上記の地域以外にも農山村活性化の取組みの活動範囲を拡大し、それぞれの地域にあった活動を行うことで、地域連携の強化、地域社会・経済への貢献を推進していきます。